

技術支援事例 No.136 / 新製品開発

## 壺屋焼で用いられる 化粧用原料の開発

### 支援の背景

壺屋陶器事業(協組)では、本県の伝統工芸品である壺屋焼に用いられる原材料の共同購買(原材料の仕入れと供給)を行っています。しかしながら近年、伝統的に使用されてきた化粧掛けに用いられる白土(化粧土)の入手が困難な状況です。

このため、同組合から、量的に確保可能で、品質面を考慮した化粧用原料を開発し、県内陶器製造業者へ安定して化粧土を供給したいとの相談がありました。

### 支援内容

当センターでは、賦存量が見込める県内産の土に市販原料を配合し、従来の化粧土と質の変わらない代替品となるような配合割合を明らかにし、これらの知見を同組合へ技術移転しました。

### 支援の成果

- 県内産の土を主原料とする化粧用原料を工場生産ラインで試作しました。
- 試作品で検討した結果、化粧用原料は色味や泥しよりの作業性が既存の化粧土とほとんど遜色なく、実用的に利用できることを確認しました。
- 同組合は得られた知見を基に、開発した化粧用原料の供給が可能となりました。



化粧用原料を使用した試作品の外観